

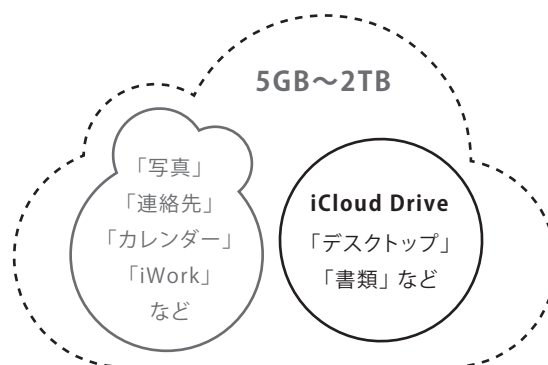


iCloud / iCloud Drive

「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期について

はじめに

Macをお使いの方は、初期設定のとき Apple IDを取得しています。そのときよくわからずに iCloud も同時に設定している方も多くいます。意図的に使用している方は問題ないのですが、状態を理解せずに利用していると思われトラブルに遭遇します。ここでは簡単な iCloud / iCloud Drive の説明と、トラブルになりやすい【iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期】の同期解除方法を説明します。同期解除作業にあたっては書類を最後までよく読んだ上で行ってください。



iCloud (Apple が運営するクラウドサービス)

■ iCloud

iCloud (アイクラウド) とは、Apple が運営するクラウドサービスです。iTunes や iPhone などでも撮影した写真、連絡先、カレンダー、iWork の書類データなどの iCloud 対応データをクラウド上に保存し、インターネットに接続している MacBook や iPhone といったデバイスでデータの共有ができるサービスです。

■ iCloud Drive

iCloud Drive (アイクラウド ドライブ) は従来までの iCloud 対応データだけでなく、様々なファイルをクラウド上に保存・共有できるようになったサービスです。

Apple ウェブサイト 詳細情報リンク先「iCloud : iCloud Drive とは」

https://support.apple.com/kb/PH19386?locale=ja_JP&viewlocale=ja_JP

※クラウド・ストレージといった基本用語がわからないという方は

Apple のウェブサイトなどで理解を深めましょう。

■ 無料は 5GB (ギガバイト)

Apple ID を取得すると、iCloud から無料で 5GB のクラウド上のストレージ容量が提供されます。

1 つの Apple ID につき 1 つのストレージが提供されるので MacBook だけではなく iPhone や iPad などでも、同一の Apple ID を使用すれば複数のデバイスでデータが共有できます。

※Apple では 1 人が複数の Apple ID を持つのではなく、1 人が 1 つの Apple ID で同一の iCloud を共有することを推奨しています。



■ 5GB の容量は足りなくなる

問題は iCloud の無料で提供されるストレージ容量は 5GB しかないということです。

MacBook Pro のストレージ容量は 128GB~512GB なので、PC の最大容量の数%を同期するだけで容量オーバーになります。

そのため MacBook Pro などの PC で、iCloud の無料プランに同期したまま情報デザインコースの課題を進めていくと、

どうしても足りなくなってしまう。同期したデータ容量が 5GB をこえると iCloud には保存ができなくなり、

これが原因でのトラブルが確認されています。

具体的には、「データ保存時に iCloud の有料版へアップデートを求められる」、「使っている iPhone が iCloud に同期されない」、

「作業中 iCloud 容量オーバーの警告の表示」、「iCloud Drive 解除時にもなうデータ消失」などの問題が考えられます。

どれも正しく対応すれば問題はありますが、下記の対応をすることでトラブルを回避できます。

■ トラブルを避けるには

トラブルを避けるには下記の 2 つの方法があります。

① iCloud のサービスの一つである iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期を切る。

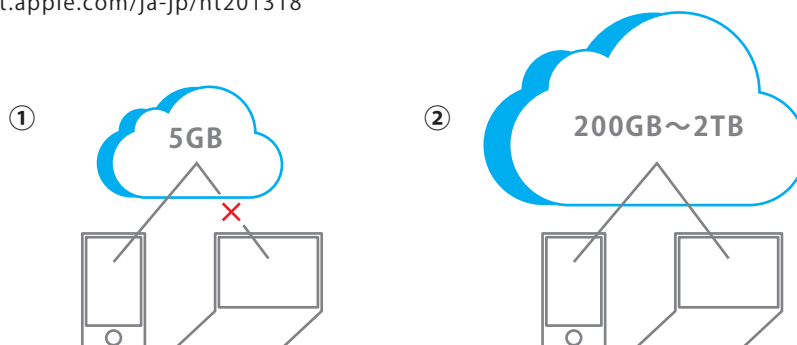
イラストレーターやフォトショップなどの主要なデータが保存される「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期を切り、クラウドに頼らずローカルストレージ (PC のストレージや外付け HDD など) によりデータを管理します。

② iCloud のサービスをよく理解した上で、有料アップグレードを選択し、iCloud のストレージ容量を確保する。

各自の iCloud 利用方法に合ったサイズのストレージ容量を確保、管理することでトラブルを回避します。

※Apple ウェブサイト 詳細情報リンク先「iCloud ストレージの容量を買い足す」

<https://support.apple.com/ja-jp/ht201318>



情報デザインコースとしては、パソコンに慣れていない方は①の方法でトラブルを回避することを推奨しています。

次ページより、iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの設定の確認方法と解除方法を紹介します。

iCloud Drive

「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期に関する設定

■ はじめに「iCloud Drive」について

「iCloud Drive」はクラウド上にデータを同期保存する Apple 社のサービスですが、macOSバージョン「10.12 Sierra」から「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダも保存対象として設定が可能となり利用する設定を行っている場合、ネットワーク接続時は所定の場所にあるファイルは常にクラウド上で同期している状態になります。メリット、デメリットを理解して意図的に利用しているのであれば問題はありますが、Mac 初心者の方などは購入時のセットアップの流れで設定してしまい、状態を理解していないままのケースもあります。設定状態の確認方法と解除方法、動作検証を以下にまとめますので、気になる方は以下を確認してください。*OSのバージョン等によりサービス内容、設定方法は異なる場合があります。また仕様が変更になる可能性もあります。詳しくはApple社ウェブサイトを確認してください。

■ iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダ同期状況の確認

まず自身の PC が iCloud と同期しているかを確認する方法です。

① iCloud Drive のオプション項目内の「“デスクトップ” フォルダと “書類” フォルダ」にもチェックがある

Apple マーク > 「システム環境設定」 > 「iCloud」 > 「iCloud Drive」 > チェックありの状態
且つ、オプション項目内の「“デスクトップ” フォルダと “書類” フォルダ」にもチェックありの状態

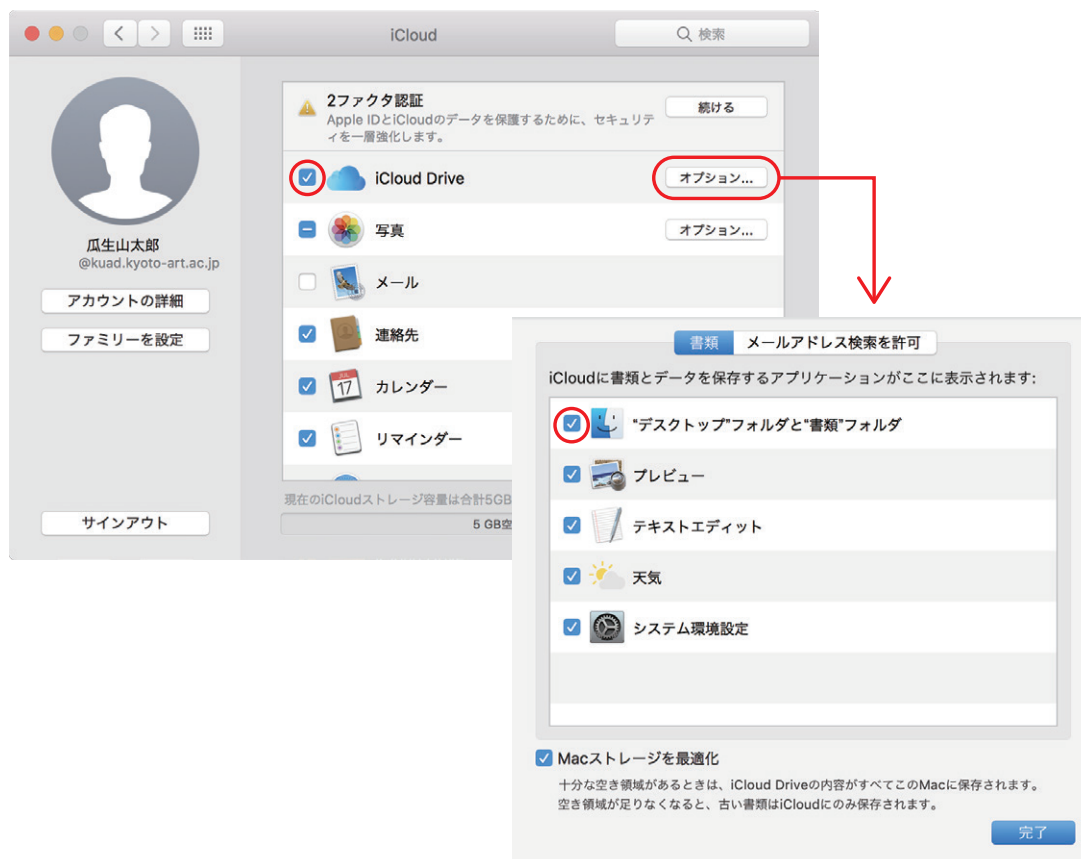
②「ユーザ名」フォルダに「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダがない

「Macintosh HD」 > 「ユーザ」 > 「ユーザ名」 > 「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダがない

③ サイドバー「iCloud Drive」に「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダがある

「ファイル」 > 「新規ウィンドウ」 > サイドバー「iCloud Drive」 > 「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダがある

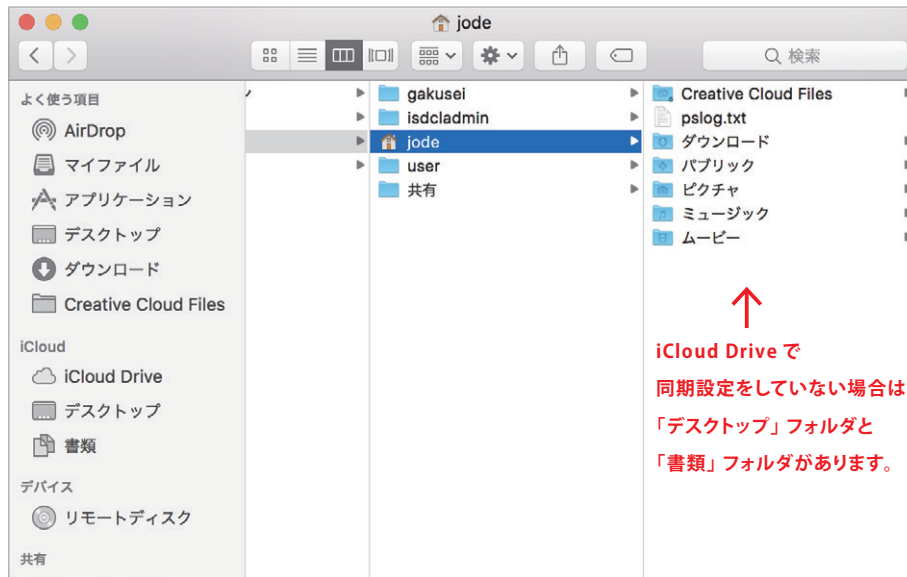
① Apple マーク > 「システム環境設定」 > 「iCloud」 > 「iCloud Drive」 使用時の状態



② 「Macintosh HD」 > 「ユーザ」 > 「ユーザ名」 フォルダ

「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダが存在しない

※デスクトップに「Macintosh HD」のアイコンがない場合、「Finder」>「環境設定」>「ハードディスク」にチェックする。
表示された「Macintosh HD」のアイコンをダブルクリックすると、「ユーザ」>「ユーザ名」へと進めます。

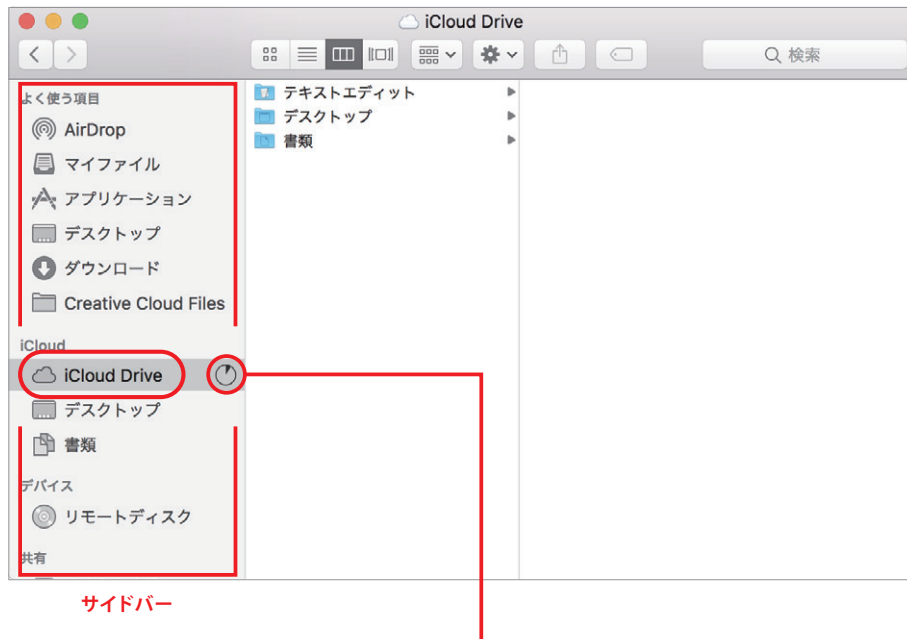


③ 「ファイル」 > 「新規ウィンドウ」 > サイドバーの「iCloud Drive」

「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダ及び、iCloud で同期設定をしている項目が存在する。

※サイドバーが表示されていない場合はウィンドウの横幅サイズを拡大してください。

それでも表示されない場合は『Finder アプリ』の「環境設定」>「サイドバー」の設定項目を確認してください。



ファイル操作中、保存時などデータ同期（転送）の際に表示されます。
転送容量が大きい場合は下図のウィンドウも表示されます。



■ iCloud Drive 容量オーバー時

同期しており、さらに無料プランの容量 (5GB) を超えているケースです。

iCloudの無料プランは5GBが使用可能容量です(写真等、その他使用データも含む)。

容量を超えた場合は、iCloud上には同期されなくなります。

作成したデータはPC本体に保存されますので、継続して作業・保存は可能です。

※ただし、PC上でも保存場所は「iCloud Drive」になります。

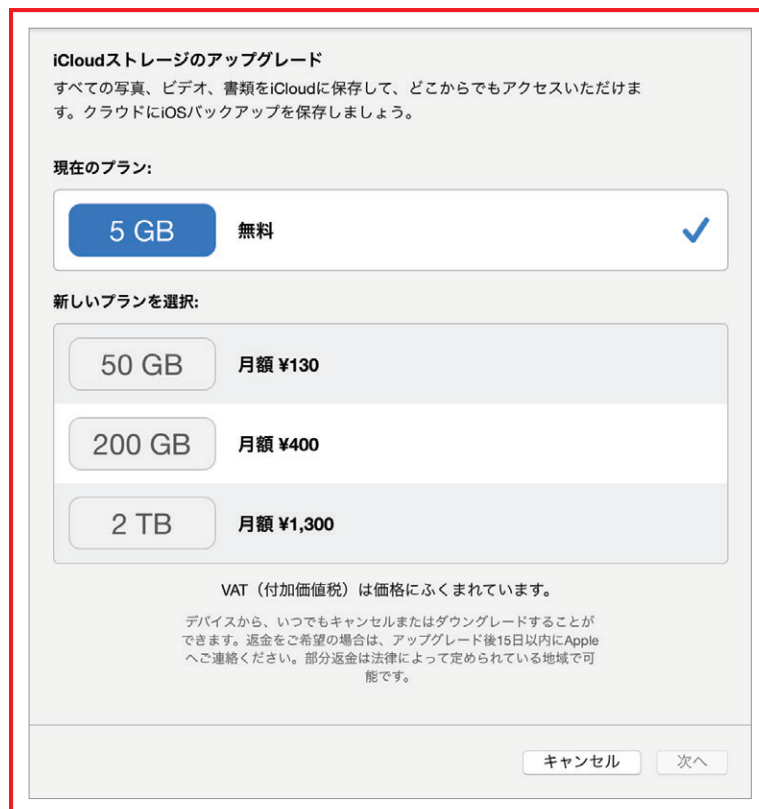
※最近操作したファイルのみ優先して同期しようとする動作が行われる場合があります。



オーバー時はウィンドウ上部に容量オーバーの表示と、「アップグレード」「詳細情報」のリンクボタンが表示されます。

Apple ウェブサイト 詳細情報リンク先「iCloud ストレージを管理する」

<https://support.apple.com/ja-jp/HT204247>

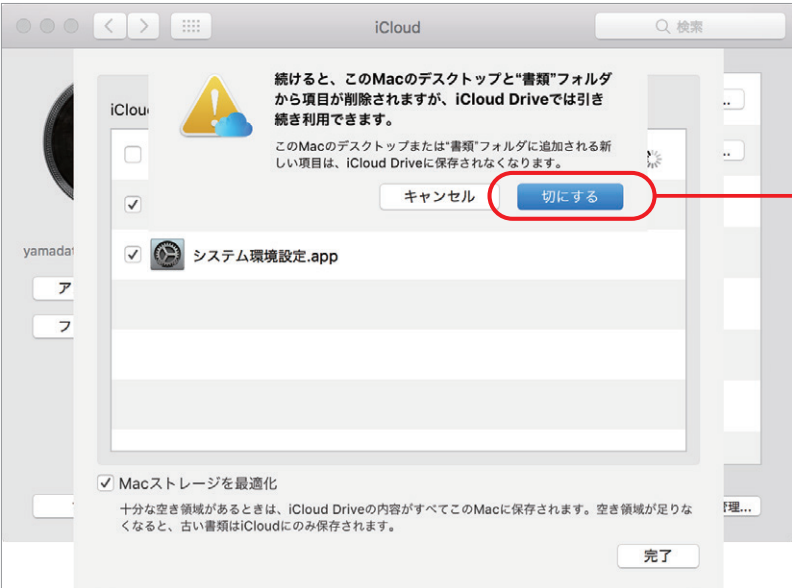


■ iCloud Drive 「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダの同期を解除したい場合（※要ネットワーク接続）


同期を解除する際、iCloud Driveの容量オーバー、仕様変更等が原因による、データの消失、部分的消失が報告されています。
必ずUSB、外付けHDDなどに「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダのバックアップを取ってから解除作業を行ってください。

- ① Apple マーク > 「システム環境設定」 > 「iCloud」 > 「iCloud Drive」 > 「オプション」 > 「“デスクトップ” フォルダと “書類” フォルダ」のチェックを外す。
- ② iCloud 上に保存されていたファイルの処理の確認ウィンドウが表示。「切にする」を選択。
- ③ 「このデスクトップと “書類” フォルダからの項目は iCloud Drive で利用できます。」と確認ウィンドウが表示 > 「Finder に表示」を選択。
- ④ iCloud Drive の Finder が表示 > 「デスクトップ」フォルダと「書類」フォルダが保存されています。
- ⑤ デスクトップ上あったファイルも全て上記の④のフォルダに保存（移動）しますので、手動で所定の階層、場所に移動します。
iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダの中身を、「Macintosh HD」>「ユーザ」>「ユーザ名」>「デスクトップ」へ移動。
iCloud Drive の「書類」フォルダの中身を、「Macintosh HD」>「ユーザ」>「ユーザ名」>「書類」へ移動。
※移動時に iCloud Drive に保存されていたバックアップは削除されます。


②



③



④



自動で表示

自動で表示

自動で表示

iCloud Drive の「デスクトップ」フォルダの中身を、「Macintosh HD」>「ユーザ」>「ユーザ名」>「デスクトップ」へ移動。
iCloud Drive の「書類」フォルダの中身を、「Macintosh HD」>「ユーザ」>「ユーザ名」>「書類」へ移動。

※デスクトップに「Macintosh HD」のアイコンがない場合、「Finder」>「環境設定」>「ハードディスク」にチェックする。
表示されたアイコンをダブルクリックすると、「ユーザ」>「ユーザ名」へと進めます。

■ Apple ウェブサイト「iCloud Drive についてよくお問い合わせいただく質問 (FAQ)」

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201104>